

TIS（Trunk Impairment Scale：トランクインペアメントスケール）評価シート

満点23点（高スコア＝良好） 各項目3回試行し最も良い成績を採用 評価者は試行間にフィードバック可

氏名： _____ 診断名： _____ 評価日： _____ 評価者： _____

麻痺側： _____

全項目共通の開始肢位 座位、両大腿は水平、足部は支持面に平らに接地、膝関節は90°屈曲、背もたれによる支持なし、手および前腕は大腿の上に置く。

#	項目名／実施ポイント	採点基準（最も高いスコアを採用）	
		セクション1：静的座位バランス Static Sitting Balance	3項目＝7点
1	開始肢位の保持 開始肢位を10秒間保持する	2 10秒間、肢位を保持する 0 転倒する、または上肢による支持を必要とする 備考：0点の場合、TIS合計点は0点。	
2	他動的下肢交叉 療法士が最も強い脚を最も弱い脚の上に組み、10秒間肢位を保持する	2 10秒間、肢位を保持する 0 転倒する、または上肢による支持を必要とする	
3	自動的下肢交叉 患者が最も強い脚を最も弱い脚の上に組む	3 体幹または上肢による代償なしに動作する 2 体幹を10cmを超えて移動させる、または上肢で補助する 1 上肢による支持を必要とする 0 転倒する	
		Sec.1 静的 合計： _____ /7	
		セクション2：動的座位バランス Dynamic Sitting Balance	10項目＝10点
1	側方リーチ（右）到達 右肘で座面に触れ、開始肢位へ戻る（課題達成の有無）	1 介助なしに座面へ触れる 0 座面に到達しない、転倒する、または上肢を使用する 備考：0点の場合、項目2+3も0点。	
2	側方リーチ（右）体幹運動 項目1を繰り返す（体幹運動を評価）	1 適切な体幹運動がある（右側の短縮、左側の伸長） 0 適切な体幹運動がない 備考：0点の場合、項目3も0点。	
3	側方リーチ（右）代償 項目1を繰り返す（代償戦略を使用したか否か）	1 代償戦略を使用しない 0 代償を使用する（上肢、股関節、膝、足部）	
4	側方リーチ（左）到達 左肘で座面に触れ、開始肢位へ戻る（課題達成の有無）	1 介助なしに座面へ触れる 0 座面に到達しない、転倒する、または上肢を使用する 備考：0点の場合、項目5+6も0点。	
5	側方リーチ（左）体幹運動 項目4を繰り返す（体幹運動を評価）	1 適切な体幹運動がある（左側の短縮、右側の伸長） 0 適切な体幹運動がない 備考：0点の場合、項目6も0点。	
6	側方リーチ（左）代償 項目4を繰り返す（代償戦略を使用したか否か）	1 代償戦略を使用しない 0 代償を使用する（上肢、股関節、膝、足部）	
7	骨盤挙上（右）体幹運動 座面から骨盤右側を持ち上げ、開始肢位へ戻る（体幹運動を評価）	1 適切な体幹運動がある（右側の短縮、左側の伸長） 0 適切な体幹運動がない 備考：0点の場合、項目8も0点。	
8	骨盤挙上（右）代償 項目7を繰り返す（代償戦略を使用したか否か）	1 代償戦略を使用しない 0 代償を使用する（上肢、股関節、膝、足部）	
9	骨盤挙上（左）体幹運動 座面から骨盤左側を持ち上げ、開始肢位へ戻る（体幹運動を評価）	1 適切な体幹運動がある（左側の短縮、右側の伸長） 0 適切な体幹運動がない 備考：0点の場合、項目10も0点。	
10	骨盤挙上（左）代償 項目9を繰り返す（代償戦略を使用したか否か）	1 代償戦略を使用しない 0 代償を使用する（上肢、股関節、膝、足部）	
		Sec.2 動的 合計： _____ /10	

TIS 評価シート（続き）

満点23点（高スコア＝良好） 各項目3回試行し最も良い成績を採用 評価者は試行間にフィードバック可

#	項目名／実施ポイント	採点基準（最も高いスコアを採用）	
		セクション3：協調性 Coordination 4項目＝6点	
1	肩甲帯回旋 肩甲帯を6回回旋する（各肩を前方へ3回ずつ動かす）。最初に動かす側は麻痺側、頭部は開始肢位で固定	2 対称的な回旋 1 非対称な回旋 0 麻痺側を3回動かさない 備考：0点の場合、項目2も0点。	
2	肩甲帯回旋・反復 項目1を繰り返し、6秒以内に実施する	1 対称的な回旋 0 非対称な回旋	
3	骨盤帯回旋 骨盤帯を6回回旋する（各膝を前方へ3回ずつ動かす）。最初に動かす側は麻痺側、上部体幹は開始肢位で固定	2 対称的な回旋 1 非対称な回旋 0 麻痺側を3回動かさない 備考：0点の場合、項目4も0点。	
4	骨盤帯回旋・反復 項目3を繰り返し、6秒以内に実施する	1 対称的な回旋 0 非対称な回旋	
		Sec.3 協調性 合計： _____ /6	

■ 合計スコア

Sec.1 静的 _____ /7
 Sec.2 動的 _____ /10
 Sec.3 協調性 _____ /6

合計スコア _____ **/23点**

■ スコア解釈（合計0～23点）

※原著の公式カットオフではなく、STROKE LAB独自の目安／文献を基にした参考値です

0～8点
重度
著明障害

9～13点
中等度
要介助

14～16点
分岐点
歩行自立の境界

17～19点
軽度
監視～自立

20～22点
軽微
ほぼ自立

23点
正常
機能正常

※入院時TIS≤16点は要介助ADLと強く相関する傾向がある（各種文献のまとめ）。高得点ほど歩行・ADL自立と関連しやすいが、急性期脳卒中中の歩行自立予測ではTISカットオフ12点という報告もあり、単一の数値を絶対基準としないこと。MCIDは対象・研究設定により約2.5～3.5点の幅がある。

■ 観察メモ・特記事項

・代償動作の種類（上肢支持／股外転／股・膝屈曲／足部滑走／頭頸部先行）：

・麻痺側／非麻痺側での左右差の特徴： _____

・体幹回旋協調性の所見（歩行時の腕振り・体幹回旋との関連）：

・疲労による変化（3試行間でのスコア変動）： _____

・その他所見： _____

TISは高スコア＝良好（MASなど「高値＝重症」のスケールとは方向が逆）。経時比較・グラフ化の際は向きに注意する。
 項目1（静的座位保持）が0点の場合、TIS合計スコアも自動的に0点として扱う。